

当院におけるEVAR術後Endoleak治療に対する画像支援の取り組み

【背景】EVAR 術後の Follow-upCT 検査において、動脈瘤の状態確認や Endoleak の有無、その Type について評価する必要があるが、Single EnergyCT 装置でのヘリカルスキャンでは Endoleak の Type 分類の判別や、流入する血管走行の評価が困難な症例をしばしば経験する。

【目的】EVAR 術後 Endoleak の治療に対して、Dual Energy CT 装置を使用して Endoleak の Type 分類の判別や、流入する血管走行を評価し治療に最適な治療支援画像を作成すること。

【方法】Dual Energy CT 装置を使用し、4D 撮影による Endoleak の Type 分類の判別を行った。Virtual Monochromatic Image で流入する血管走行の評価に最適な Energy を選択し、3D-Roadmap の作成を行った。

【結果及び考察】従来の Single EnergyCT 装置でのヘリカルスキャンでは評価困難であった Endoleak の Type 分類の判別や流入する血管走行を、Dual Energy CT 装置を使用した 4D 撮影や Virtual Monochromatic Image による 3D-Roadmap を作成することにより、治療に最適な治療支援画像を作成することが可能となった。